



会長	副会長	庶務理事	会計理事	事務局長	
次長	課長	課長代理	係長	担当	受付
中澤	中澤			西森	岡林

From: 四国電波利用環境課 <shikoku-kankyouka@soumu.go.jp>

Sent: Friday, February 7, 2025 9:45 AM

To: 四国電波利用環境課 <shikoku-kankyouka@soumu.go.jp>

Subject: 「医療機関における安心・安全な電波利用推進シンポジウム」のご案内【四国の医療機関における電波利用推進協議会事務局】

四国の医療機関における電波利用推進協議会 構成員及び関係者の皆様
(このメールはBCCで送信しております。)

総務省 四国総合通信局 電波利用環境課 (協議会事務局) です。

日頃は、当協議会の活動及び運営に対し、格別のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

本日はシンポジウムのご案内です。

総務省及び電波環境協議会は、「医療機関における安心・安全な電波利用推進シンポジウム」を開催します。

本シンポジウムでは、医療機関における平時・緊急時を含めた無線通信手段の確保をテーマに有識者に講演いただくとともに、医療機関における電波管理のポイントをテーマにパネルディスカッションを行います。

オンデマンドで配信し、視聴者の関心に応じて講演を選択することもできますので、ぜひご参加ください。

また、関係者の方へ広く周知していただけますと幸いです。

- 1 配信期間 令和7年2月20日(木)9時から同年3月14日(金)17時まで
- 2 開催方法 オンデマンド配信 (全体3時間程度)
- 3 プログラム(予定) 詳しくは別紙をご覧ください。

◆講演1: 「災害時の通信手段を確保することは「命を守る」「命を救う」に直結する！」

講師: 鷺坂 彰吾 日本赤十字社医療センター 救命救急センター・国内医療救護部 医師

◆講演2: 「災害に強い病院を目指して ~情報共有における取り組み~」

講師: 金子 秀夫 社会医療法人財団慈泉会相澤病院 救命救急センター 救護・災害医療対策課 課長

◆講演3: 「インフラシェアリングによる屋内通信環境整備の有用性」

講師: 津川 敏之 株式会社 JTOWER 不動産営業部 部長

◆講演4: 「医療機関で利用される無線機の種類とその特徴」

講師: 長瀬 華奈 アイコム株式会社 国内営業部

◆パネルディスカッション

テーマ：「医療機関における電波管理のポイント」

4 参加申込み

- (1) 参加費：無料
- (2) 申込み：参加を希望される方は、以下のウェブページからお申し込みください。
申込み用 URL：<https://mri-project.smktg.jp/public/application/add/23471>

※ 本シンポジウムは、以下の認定制度の更新のためのポイント／点数の取得対象となります。

- ・医療機器情報コミュニケーター（MDIC）認定制度
- ・医療情報技師資格更新制度
- ・ホスピタルエンジニア認定制度（CHE）
- ・臨床 ME 専門認定士制度
- ・臨床工学技士認定制度

=====
総務省 四国総合通信局 電波監理部 電波利用環境課
【四国の医療機関における電波利用推進協議会（事務局）】
〒790-8795 愛媛県松山市味酒町2-14-4
TEL：089-936-5055 FAX：089-936-5007
E-MAIL：<mailto:shikoku-kankyoka@soumu.go.jp>
=====

医療機関における安心・安全な 電波利用推進シンポジウム

配信期間

令和7年2月20日(木)9時～3月14日(金)17時

開催方法

オンデマンド配信(J-Stream ミテシル)

対象

医療関係者、医療機器メーカ、通信事業者の方など

主催

総務省、
電波環境協議会

後援

文部科学省、厚生労働省、全国自治体病院協議会、電子情報技術産業協会、
電波産業会、日本医師会、日本医療情報学会、日本医療福祉設備協会、
日本看護協会、日本臨床工学技士会、四病院団体協議会

参加費
無料



シンポジウム概要

医療機関では、無線LAN、携帯電話網、自営PHSなど様々な無線通信が業務に利用されています。しかし、近年発生した自然災害では停電が原因で無線通信網が途絶するなどの課題が浮き彫りになりました。本年度、総務省と厚生労働省が実施した全国の病院を対象にしたアンケート調査によると、緊急時の無線通信手段として、衛星電話、トランシーバ、防災無線、災害時優先通信、衛星インターネットなどを準備している病院がある一方で、「わからない／特に対策をとっていない」と回答した病院も3割以上あり、対応状況には大きな差が見られました。さらに、医療機関で広く使われてきた自営PHSの代替システムの検討、携帯電話不感エリア対策、無線LAN網の強化など、平時からの無線通信網の在り方についても様々な議論が続いています。そこで、本シンポジウムでは、「医療機関における平時・緊急時の無線通信手段の確保」に関する講演を行います。また、パネルディスカッションでは、電波環境協議会の医療分野における最新の取組をご紹介します。

■ 主催者挨拶

■ 講演(各テーマ30分程度)

医療機関における平時・緊急時を含めた無線通信手段の在り方を再考する機会として、「医療機関における平時・緊急時の無線通信手段の確保」をテーマに、専門家による講演を行います。

■ パネルディスカッション(60分程度)

電波環境協議会「医療機関における電波利用推進委員会」の最新の取組を紹介し、医療機関における電波管理のポイントについて、パネリストによる議論を行います。

申込方法

下記の申込み用URLまたは右のQRコードよりお申し込みください。
<https://mri-project.smktg.jp/public/application/add/23471>

申込期限

令和7年2月28日(金)13時まで



- ・株式会社三菱総合研究所が申込みの受付を行います。
- ・オンデマンド配信用URLおよび認証用のID、パスワードは、2月18日(火)以降にメールでお知らせします。
- ・2月18日(火)以降の申込みについては、お知らせメールの発出まで、1～2営業日必要となる場合があります。
- ・申込みの際にお知らせいただいた氏名・連絡先等の個人情報は、当該シンポジウムの運営管理にのみ使用し、シンポジウム終了後廃棄します。

本シンポジウムは、以下の認定制度の更新のためのポイント／点数の取得対象となります。

- ・医療機器情報コミュニケーター(MDIC)認定制度
- ・医療情報技師資格更新制度
- ・ホスピタルエンジニア認定制度(CHE)
- ・臨床ME専門認定士制度
- ・臨床工学技士認定制度

※受講証明書の発行には全ての配信動画の視聴が必要となります。

プログラムの詳細は
次のページを
ご覧ください。

プログラム

(敬称略)

主催者挨拶

総務副大臣 阿達 雅志

電波環境協議会 会長 藤野 義之

講演

医療機関における平時・緊急時の無線通信手段の確保

(各テーマ30分程度)

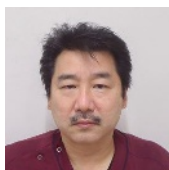
災害時の通信手段を確保することは
「命を守る」「命を救う」に直結する！



日本赤十字社医療センター
救命救急センター・
国内医療救護部 医師

鷺坂 彰吾

災害に強い病院を目指して
～情報共有における取り組み～



社会医療法人財団慈泉会 相澤病院
救命救急センター
救護・災害医療対策課 課長

金子 秀夫

インフラシェアリングによる
屋内通信環境整備の有用性



株式会社JTOWER
不動産営業部 部長

津川 敏之

医療機関で利用される
無線機の種類とその特徴



アイコム株式会社
国内営業部

長瀬 華奈

パネルディスカッション

医療機関における電波管理のポイント

(60分程度)

モデレータ



加納 隆

滋慶医療科学大学大学院 客員教授
電波環境協議会
医療機関における電波利用推進委員長



花田 英輔

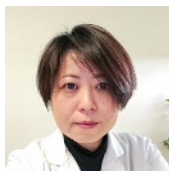
佐賀大学 理工学部 数理・情報部門 教授
電波環境協議会
医療機関における電波利用推進副委員長

パネリスト(50音順)



新 秀直

東京大学医学部附属病院
病院長補佐
企画情報運営部 副部長・講師



大原 志歩

神奈川県済生会横浜市東部病院
TQMセンター 医療安全管理室
副室長



酒井 基広

東京女子医科大学病院
医療安全推進部
臨床工学技士長



吉嶺 文俊

公益社団法人全国自治体病院協議会
副会長

※プログラムの内容は予告なく変更する場合がありますので予めご了承ください。

シンポジウムに関するお問い合わせ先

株式会社三菱総合研究所 モビリティ・通信事業本部
「医療機関における安心・安全な電波利用推進シンポジウム」運営担当
電子メール: denpa_sympo@ml.mri.co.jp



総務省



電波環境協議会
Electromagnetic Compatibility Conference Japan